

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-52325

(P2020-52325A)

(43) 公開日 令和2年4月2日(2020.4.2)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
G09F 3/00 (2006.01)	G09F 3/00 D	
G09F 3/02 (2006.01)	G09F 3/02 M	
	G09F 3/00 S	
	G09F 3/00 M	

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2018-183882 (P2018-183882)	(71) 出願人	000130581
(22) 出願日	平成30年9月28日 (2018.9.28)		サトーホールディングス株式会社
			東京都目黒区下目黒1丁目7番1号
		(74) 代理人	110000165
			グローバル・アイピー東京特許業務法人
		(72) 発明者	今村 崇樹
			東京都目黒区下目黒1丁目7番1号 サト
			ーホールディングス株式会社内
		(72) 発明者	福本 浩
			東京都目黒区下目黒1丁目7番1号 サト
			ーホールディングス株式会社内
		(72) 発明者	佐々木 悟
			東京都目黒区下目黒1丁目7番1号 サト
			ーホールディングス株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ラベルセット

(57) 【要約】

【課題】消費者による被貼付物の購買意欲を高めることを可能とするラベルを提供する。

【解決手段】複数枚の複合ラベルからなるラベルセットであって、複数枚の複合ラベルの各々は、剥離可能に裏面側から積層された第1ラベルと第2ラベルを含み、第1ラベルの裏面には粘着剤層が形成され、第2ラベルは、一部を囲むように切り込まれている切込部を有し、第2ラベルの表面のうち切込部に囲まれた部分にはオブジェクトが印刷され、複数枚の複合ラベルの各々に印刷されているオブジェクトが互いに関連している。

【選択図】図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

複数枚の複合ラベルからなるラベルセットであって、
前記複数枚の複合ラベルの各々は、剥離可能に裏面側から積層された第 1 ラベルと第 2 ラベルを含み、
前記第 1 ラベルの裏面には粘着剤層が形成され、
前記第 2 ラベルは、一部を囲むように切り込まれている切込部を有し、前記第 2 ラベルの表面のうち前記切込部に囲まれた部分にはオブジェクトが印刷され、
前記複数枚の複合ラベルの各々に印刷されているオブジェクトが互いに関連している、
ラベルセット。

10

【請求項 2】

前記第 1 ラベルの表面には、前記オブジェクトと関連する画像が印刷されている、
請求項 1 に記載されたラベルセット。

【請求項 3】

前記複合ラベルは多角形状であって、
前記複合ラベルのいずれかの頂点である第 1 頂点において、前記第 2 ラベルは、第 1 ラベルの表面が露出するように切欠部を有し、
前記第 1 頂点からの前記切込部までの距離は、前記複合ラベルの前記第 1 頂点以外のいずれの頂点からの前記切込部までの距離よりも短い、
請求項 1 または 2 に記載されたラベルセット。

20

【請求項 4】

前記第 2 ラベルの裏面には、前記切込部に囲まれた部分の粘着力が前記切込部に囲まれていない部分の粘着力よりも小さくなるように、粘着剤層が形成されている、
請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載されたラベルセット。

【請求項 5】

前記第 2 ラベルの裏面には、前記第 2 ラベルの周縁の一部である第 1 部分の粘着力が、前記第 2 ラベルの他の部分の粘着力よりも大きくなるように、粘着剤層が形成され、
前記第 1 ラベルの表面と、前記第 2 ラベルの裏面とには、一体的な情報が印刷されている、
請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載されたラベルセット。

30

【請求項 6】

前記複数枚の複合ラベルの各々は、前記第 1 ラベルと前記第 2 ラベルの間に介在し、前記第 1 ラベルおよび前記第 2 ラベルに対して剥離可能に接着されている第 3 ラベルをさらに含み、
前記第 3 ラベルの表面および裏面のいずれか一方の面には、剥離剤層が形成されている、
請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載されたラベルセット。

【請求項 7】

前記第 2 ラベルの表面には、二次元コードが印刷されており、
前記二次元コードには、前記オブジェクトに関連する情報が含まれる、
請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載されたラベルセット。

40

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、ラベルセットに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、ピン等の商品である被貼付物に貼り付けるラベルの表面には、当該商品に関する情報が印刷される。かかるラベルとして、2 枚以上のラベルを積層した複合ラベルが知られている（例えば特許文献 1）。

50

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2004-354812号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

従来、商品である被貼付物に貼り付けられているラベルは専ら被貼付物に関する情報の表示の目的にのみ使用され、基本的に使い捨てであった。しかし、昨今、ラベルには情報の表示の目的だけではなく、ラベルが貼り付けられた商品の販売促進に寄与する付加価値が求められている。

10

【0005】

そこで、本発明は、消費者による被貼付物の購買意欲を高めることを可能とするラベルを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明のある態様は、複数枚の複合ラベルからなるラベルセットであって、前記複数枚の複合ラベルの各々は、剥離可能に裏面側から積層された第1ラベルと第2ラベルを含み、前記第1ラベルの裏面には粘着剤層が形成され、前記第2ラベルは、一部を囲むように切り込まれている切込部を有し、前記第2ラベルの表面のうち前記切込部に囲まれた部分にはオブジェクトが印刷され、前記複数枚の複合ラベルの各々に印刷されているオブジェクトが互いに関連している。

20

【発明の効果】

【0007】

本発明のある態様によれば、消費者による被貼付物の購買意欲を高めることを可能とするラベルを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】実施形態のラベルセットを構成する複数の複合ラベルの平面図である。

【図2】実施形態の複合ラベルが貼り付けられた被貼付物の斜視図である。

30

【図3】実施形態の複合ラベルの断面図である。

【図4】実施形態の複合ラベルの使用方法を説明する図である。

【発明を実施するための形態】

【0009】

本発明において「オブジェクト」は、例えば、絵や図像等のイラストレーション（以下、「イラスト」と略記する。）、図柄、写真、文字、記号、マーク等であり、視覚的に認識可能である限り如何なる表示対象をも含む。

本発明において「オブジェクトが互に関連する」とは、オブジェクト同士の表示形態が類似し、若しくは関連性があること、表示形態が同一であって異なる色、若しくは模様が付されていること等に限られず、オブジェクト同士が共通の事項、若しくは共通の主題を想起させる等の、観念上関連性があることをも意味する。

40

【0010】

以下、本発明のラベルセットの一実施形態について、図面を参照しながら説明する。

【0011】

以下、本実施形態のラベルセット1について、図1～図3を参照して説明する。

本実施形態のラベルセット1は、複数の複合ラベルを備える。

図1は、本実施形態のラベルセットを構成する複数の複合ラベルの平面図である。図2は、本実施形態のラベルセットに含まれる複合ラベルが貼り付けられた被貼付物2の斜視図である。図3は、実施形態の複合ラベルの断面図である。

【0012】

50

図 1 に示すように、本実施形態のラベルセット 1 は、複数の複合ラベル 10 A ~ 10 D を備える。本実施形態の例では、複合ラベル 10 A ~ 10 D はそれぞれ矩形形状をなしている。図 1 に示す例では、ラベルセット 1 は 4 個の複合ラベルによって構成されているが、その限りではない。ラベルセット 1 に含まれる複合ラベルの数は 2 以上の任意の数でよい。

図 2 は、ラベルセット 1 のうち複合ラベル 10 A が、被貼付物 2 の表面 2 S に貼り付けられた状態を示している。本実施形態の例では、被貼付物 2 は、飲料用ビン（桃ジュース用のビン）である。

【0013】

図 2 に例示するように、ラベルセット 1 を構成する複合ラベル 10 A ~ 10 D は、それぞれ、被貼付物 2 に貼り付けられて取引される。すなわち、被貼付物 2 として、複合ラベル 10 A ~ 10 D のうちいずれかの複合ラベルが取り付けられた 4 種類のものが市場で販売される。

なお、以下の説明では、複合ラベル 10 A ~ 10 D に対して共通の事項を言及するときには、総称して「複合ラベル 10」と表記する。

【0014】

図 1 に示すように、複合ラベル 10 A ~ 10 D の表面（おもて面）には、被貼付物 2 の内容物を示すテキスト情報 101（図 1 の例では、「桃ジュース」等のテキスト情報）とともに、それぞれイラスト 102 a ~ 102 d（オブジェクトの一例）が印刷されている。

複合ラベル 10 A ~ 10 D はすべて同じ被貼付物 2 に貼り付けられるため、被貼付物 2 の内容物を示すテキスト情報 101 はすべての複合ラベルで同一である。それに対して、イラスト 102 a ~ 102 d はすべて異なるが、互いに関連している。すなわち、本実施形態の例では、被貼付物 2 は桃ジュース用のビンであり、日本のおとぎ話の一つである「桃太郎」にちなんで、イラスト 102 a ~ 102 d がそれぞれ、「桃太郎」に登場する桃太郎、犬、猿、キジのイラストであるという点で、互いに関連している。

以下の説明では、イラスト 102 a ~ 102 d に対して共通の事項を言及するときには、総称して「イラスト 102」と表記する。

【0015】

複合ラベル 10 は、2 枚のラベルが積層された構造を有する。すなわち、図 3 に示すように、複合ラベル 10 は、第 1 ラベル 11 と第 2 ラベル 12 が裏面側から積層された構造となっている。第 1 ラベル 11 および第 2 ラベル 12 は、剥離可能に接着されている。

第 1 ラベル 11 の裏面 11 R は、被貼付物 2 b の表面 2 S に貼り付けられる面である。第 1 ラベル 11 の表面（おもて面）11 F は、第 2 ラベル 12 の裏面 12 R と接着されている。第 2 ラベル 12 の表面（おもて面）12 F は、テキスト情報 101 およびイラスト 102 が印刷されている面である。後述するが、第 1 ラベル 11 の表面 11 F にも情報が印刷されている。

【0016】

図 3 に示すように、第 1 ラベル 11 は、基材シート 111 と、基材シート 111 の裏面に形成されて被貼付物 2 に貼付するための強粘着剤層 112 と、基材シート 111 の表面に順に形成された印刷層 113 および剥離剤層 114 と、を備える。

第 2 ラベル 12 は、基材シート 121 と、基材シート 121 の裏面に形成されて剥離・再貼着可能な弱粘着剤層 122 と、基材シート 121 の表面に形成された印刷層 123 と、を備える。

【0017】

基材シート 111, 121 の種類や材質は特に限定されるものではないが、例えば、上質紙、コート紙、アート紙のような紙基材、PET（ポリエチレンテレフタレート）、PE（ポリエチレン）、PP（ポリプロピレン）、PS（ポリスチレン）を素材として合成樹脂フィルムである。その他、前記の合成樹脂フィルムを複数種類組み合わせたシート、合成樹脂フィルムと紙とを合わせた複合シート、あるいは、感熱紙（サーマル紙）でもよ

10

20

30

40

50

い。

基材シート 1 1 1 , 1 2 1 の厚さは特に限定されないが、例えば 1 0 ~ 2 0 0 μ m である。

【 0 0 1 8 】

強粘着剤層 1 1 2 および弱粘着剤層 1 2 2 に含まれる粘着剤は、例えば、エマルジョン系（粘着剤を水に分散したもの）、ソルベント系（粘着剤を溶剤に溶解したもの）、ホットメルト系（熱可塑性を利用したもの）等である。材質としては、合成ゴム系や天然ゴム系、アクリル樹脂系、ポリビニルエーテル樹脂系、ウレタン樹脂系、シリコーン樹脂系等の粘着剤が挙げられる。

粘着剤層の厚さは特に限定されないが、例えば 1 0 ~ 2 5 μ m である。

強粘着剤層 1 1 2 は、J I S Z 1 5 3 8 及び Z 0 2 3 7 により規定されているステンレス試験板に対する 1 8 0 ° 引きはがし粘着力が、5 8 8 0 m N / 2 5 m m 幅、以上あるものであることが好ましい。

【 0 0 1 9 】

印刷層 1 1 3 , 1 2 3 は、それぞれ、基材シート 1 1 1 , 1 2 1 上に情報が印刷されて形成される。印刷層 1 2 3 に印刷されている情報は、図 1 に示したように、テキスト情報 1 0 1 とイラスト 1 0 2 である。

印刷層 1 1 3 に印刷されている情報は、イラスト 1 0 2 に関連するテキスト情報やイラスト、図柄等である。なお、印刷層 1 1 3 に印刷されている情報は、複合ラベル 1 0 A ~ 1 0 D において同一であってもよいし、異なってもよい。複合ラベル 1 0 A ~ 1 0 D において印刷層 1 1 3 に印刷されている情報が異なる場合には、それぞれの情報が関連していることが好ましく、本実施形態の例では、それぞれ「桃太郎」に関連する情報である。複合ラベル 1 0 A ~ 1 0 D の印刷層 1 1 3 に印刷されている情報は、それぞれイラスト 1 0 2 a ~ 1 0 2 d に関連する情報であってもよい。

【 0 0 2 0 】

剥離剤層 1 1 4 に含まれる剥離剤として、例えば、シリコーン系剥離剤を挙げることができる。このほか、P E、P P、ポリブチレン等のオレフィン系重合体または共重合体樹脂、P S、ポリビニルブチラル、ポリ酢酸ビニル、エチレン - 酢酸ビニル共重合体、アクリル系樹脂、セルロール樹脂等の熱可塑性樹脂、およびこれらの混合物およびポリウレタン等の熱硬化性樹脂からなる群から適宜選択して用いることができる。剥離剤の厚さは特に限定されないが、例えば 0 . 1 ~ 5 μ m m である。

第 1 ラベル 1 1 の剥離剤層 1 1 4 と第 2 ラベル 1 2 の弱粘着剤層 1 2 2 が弱接着力で「仮着」することで、第 1 ラベル 1 1 と第 2 ラベル 1 2 とが接着している。

【 0 0 2 1 】

図 3 に示すように、第 2 ラベル 1 2 は、一部を囲むように切り込まれている切込部 C L を有する。第 2 ラベル 1 2 の表面 1 2 F 側の印刷層 1 2 3 には、切込部 C L に囲まれた部分にイラスト 1 0 2 が印刷されている。

切込部 C L は、複合ラベル 1 0 の第 2 ラベル 1 2 の表面 1 2 F 側から切込部 C L の形状に合わせたカッターを所定の押圧力で押し当てることで、第 2 ラベル 1 2 にのみ形成される。

【 0 0 2 2 】

図 1 を再度参照すると、矩形形状の複合ラベル 1 0 の四隅（4 頂点）のいずれかの隅（第 1 頂点の一例）において、第 2 ラベル 1 2 には切欠部 1 0 5 が形成されている。すなわち、切欠部 1 0 5 においては、第 2 ラベル 1 2 が切断されており、第 2 ラベル 1 2 よりも下側にある第 1 ラベル 1 1 が露出した状態となっている。切欠部 1 0 5 において消費者が第 2 ラベル 1 2 を爪で引っ掛けることで第 2 ラベル 1 2 を第 1 ラベル 1 1 から剥がすことが容易になる。

【 0 0 2 3 】

切欠部 1 0 5 が形成された隅からの切込部 C L までの距離が、切欠部 1 0 5 が形成された隅以外のいずれの隅からの切込部 C L までの距離よりも短くなるように、切込部 C L が

10

20

30

40

50

形成される隅が四隅の中から選択されていることが好ましい。切込部 C L が切欠部 105 から離れている場合には、消費者が切欠部 105 から第 2 ラベル 12 を剥がす途中で、剥がれた第 2 ラベル 12 の部分が破損する可能性がある。それに対して、切込部 C L が切欠部 105 に近い場合には、消費者が切欠部 105 から第 2 ラベル 12 を剥がす途中で第 2 ラベル 12 の破損が生じ難くなる。

【0024】

切込部 C L の位置は、複合ラベル 10 の周縁から極力離間していることが好ましい。切込部 C L が複合ラベル 10 の周縁に近過ぎると、第 2 ラベル 12 を剥がすときに第 2 ラベル 12 の周縁に近い細い部分が破損し易くなる。

【0025】

次に、本実施形態の複合ラベル 10 の使用方法について、図 4 を参照して説明する。

図 4 は、本実施形態の複合ラベル 10 の使用方法を説明する図であり、第 2 ラベル 12 を途中まで剥がした状態を示している。

図 4 では、説明のために例示的な複合ラベル 10 A が平面形態で示されているが、複合ラベル 10 A の第 1 ラベル 11 は強粘着剤層 112 によって被貼付物 2 の湾曲した表面 2 S に貼り付いている。そのため、切欠部 105 から第 2 ラベル 12 を手前に指で引っ張ることで、図 4 に示すように第 2 ラベル 12 を剥がすことができる。

このとき、第 2 ラベル 12 の切込部 C L によって囲まれた部分（イラスト 102 が表示された部分；以下、「イラスト部分」という。）は、第 1 ラベル 11 の表面 11 F に残存する。

【0026】

第 2 ラベル 12 を剥がすことによって露出した第 1 ラベルの表面 11 F には、イラスト 102 に関連する情報（図 4 に例示する複合ラベル 10 A の場合には、情報 103 a）が表示されている。情報 103 a には、本実施形態の例では「桃太郎」に関連した情報である。そのため、第 1 ラベル 11 の表面 11 F に残存したイラスト 102 a と相俟って、被貼付物 2 の消費者に、第 2 ラベル 12 の表面 12 F とは別の、「桃太郎」に関連した視覚効果を与えることができる。

【0027】

消費者は、イラスト部分を第 1 ラベル 11 から剥がして、コレクションとして収集することができる。本実施形態のラベルセット 1 に含まれる複合ラベル 10 A ~ 10 D にはそれぞれ異なるイラストが表示されている。そのため、消費者には複合ラベル 10 A ~ 10 D の異なるイラスト部分をすべて収集したいと心理が生じ、異なる複合ラベルが貼付された被貼付物 2 を購入する動機付けが働く。その結果、本実施形態のラベルセット 1 によれば、消費者による被貼付物 2 の購買意欲を高めることが可能となる。

【0028】

第 2 ラベル 12 の弱粘着剤層 122 は、切込部 C L に囲まれたイラスト部分の粘着力が切込部 C L に囲まれていない部分の粘着力よりも小さくなるように構成されていることが好ましい。イラスト部分の粘着力を小さくすることで、イラスト部分を剥離・再貼付可能とする回数を多くすることができる。

【0029】

以下、本実施形態のラベルセット 1 の変形例について説明する。

第 1 の変形例では、第 2 ラベル 12 の弱粘着剤層 122 は、第 2 ラベル 12 の周縁の一部（「第 1 部分」という。）の粘着力が、第 2 ラベル 12 の他の部分の粘着力よりも大きくなるように形成されてもよい。例えば、第 2 ラベル 12 の四辺のいずれかの辺に対応する端部を第 1 部分とした場合、当該第 1 部分の粘着力を他の部分の粘着力よりも大きくする。その場合、第 1 ラベル 11 の表面 11 F と、第 2 ラベル 12 の裏面 12 R とには、一体的な情報が印刷されていることが好ましい。つまり、第 2 ラベル 12 において粘着力の大きい端部（第 1 部分）まで第 2 ラベル 12 を剥がした状態で、当該端部を中心に、第 1 ラベル 11 と第 2 ラベルとで見開き状態の一体的な情報を出させる。それによって、より多くのまとまった情報を消費者に視認させることができる。

10

20

30

40

50

【 0 0 3 0 】

第2の変形例では、複合ラベル10の第1ラベル11と第2ラベル12の間には、別のラベルを介在させてもよい。その場合、第1ラベル11と第2ラベル12の間に介在させる第3ラベルは、基材シートと、基材シートの表面に形成した剥離剤層と、基材シートの裏面に形成した弱粘着剤層と、を備えた構造とすることができる。第3ラベルの弱粘着剤層が第1ラベルの剥離剤層114と仮着し、第3ラベルの剥離剤層が第2ラベルの弱粘着剤層122と仮着することで、第1ラベル、第3ラベル、第2ラベルがこの順に積層される。

この変形例では、第3ラベルを第1ラベル11および第2ラベル12から剥がすことで、消費者が第3ラベルの表面に複数のイラスト部分を貼り付けることができる。つまり、第3ラベルがイラスト部分のコレクションシートとして機能する。

10

【 0 0 3 1 】

第3の変形例では、各複合ラベルの第2ラベル12の表面12Fには、対応するイラスト102に関連する情報を含む二次元コードが印刷されていてもよい。例えば、二次元コードの読み取り機能を備えたスマートフォンによって二次元コードを読み取ることで、スマートフォンが、二次元コードを解析してイラスト102に関連する情報を表示部に表示してもよい。それによって消費者は、イラスト102に関連する付加的な情報を得ることができる。

スマートフォンが二次元コードを読み取った場合、消費者をログイン用ウェブページに誘導し、当該ウェブページ上で消費者が収集したイラスト102を表示させるように構成してもよい。

20

【 0 0 3 2 】

以上、本発明のラベルセットの実施形態について詳細に説明したが、本発明の範囲は上記の実施形態に限定されない。また、上記の実施形態は、本発明の主旨を逸脱しない範囲において、種々の改良や変更が可能である。

例えば、上述した実施形態では、複合ラベルの形態を矩形形状としたが、その限りではない。複合ラベルの形状として、多角形状、円形、楕円形等、任意の形状を採用することができる。

上述した実施形態の形態において、複合ラベルに含まれる各ラベルには、その全面において粘着剤層および/または剥離剤層を形成する場合に限られない。粘着剤層および/または剥離剤層は、各ラベルの表面または裏面の一部に形成してもよい。

30

なお、上述した実施形態では、第1ラベル11の表面11Fに情報を印刷する場合について説明したが、その限りではない。第1ラベル11の表面11Fに情報を印刷しなくてもよく、その場合でも、イラスト部分を収集したいという消費者心理が働き、消費者による被貼付物2の購買意欲を高めることができる。

【 符号の説明 】

【 0 0 3 3 】

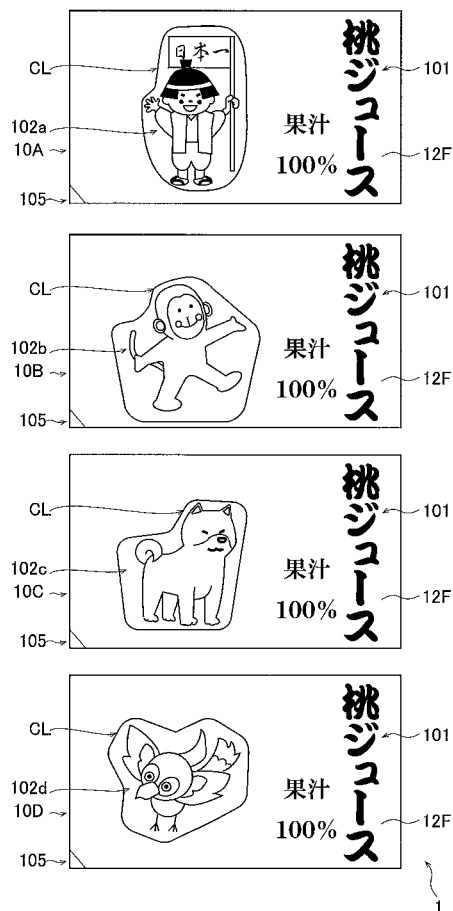
- 1 ... ラベルセット
- 2 ... 被貼付物
- 2 S ... 表面
- 10 (10 A ~ 10 D) ... 複合ラベル
- 101 ... テキスト情報
- 102 a , 102 b , 102 c , 102 d ... イラスト
- 105 ... 切欠部
- 11 ... 第1ラベル
- 11 F ... 表面
- 11 R ... 裏面
- 111 ... 基材シート
- 112 ... 強粘着剤層
- 113 ... 印刷層

40

50

- 1 1 4 ... 剥離剤層
- 1 2 ... 第 2 ラベル
- 1 2 F ... 表面
- 1 2 R ... 裏面
- 1 2 1 ... 基材シート
- 1 2 2 ... 弱粘着剤層
- 1 2 3 ... 印刷層
- C L ... 切込部

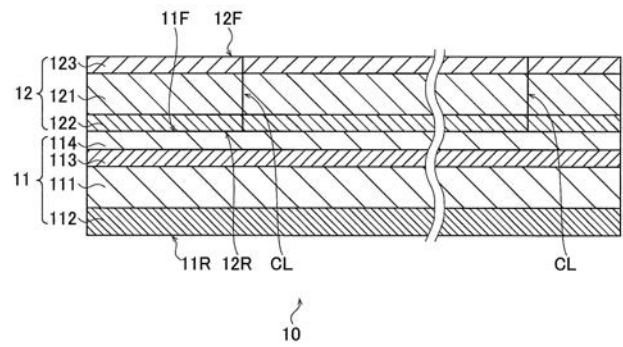
【 図 1 】



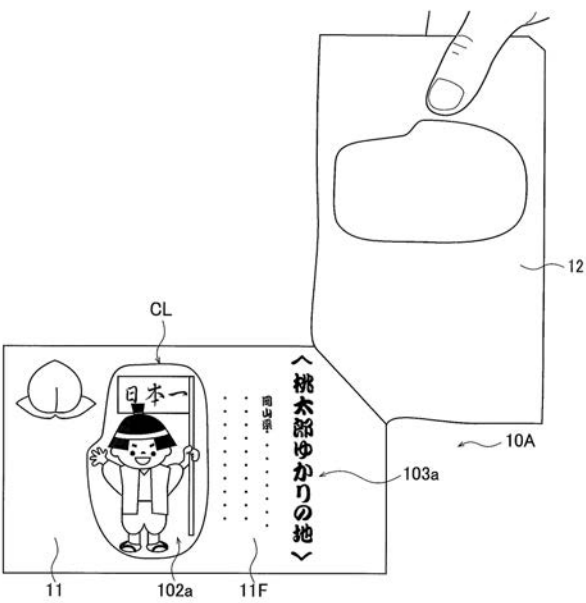
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



フロントページの続き

(72)発明者 菊地 俊

東京都目黒区下目黒1丁目7番1号 サトーホールディングス株式会社内